



まつおこども園園舎

Q なるとうこども園は、施設の老朽化というところで、新設される。しらはたこども園も震災の影響があり、子どもたちの命を守るという点から新設される。そのいずれもが昭和50年代前半に建築されたものが多い。

A まつおこども園は合併後、こども園として再スタートしたが、施設は昭和53年に建てられた松尾保育所である。今後、まつおこども園の建て替えについてはどう考えるか。

A 市長 市として、当然のことながら、子供たちを快適な状況の中で、保育をしたいという希望は持っています。他の施設についても整備を考えたいです。

●教育行政について

Q 小中学校の統廃合について。

A 教育部長 学校のあり方検討委員会を立ち上げるための要綱を作成しました。第1回目の会議を10月下旬から11月上旬に予定しており、現在委員の選定について検討しているところです。

Q ●さんむ医療センターについて

Q 現在、理事長と院長が兼務となつていますが、早期に健全な経営に向けていくためにも兼務を解消するべきではないか。

A 市長 理事長を指名するのは、私です。理事長の基本的な考え方は、院長には別の人を充てたいというお気持ちも十分持っています。

Q 市から、医療センターに、どれぐらいのお金が入っているのか。

A 保健福祉部長 平成24年度の予算でさんむ医療センターの運営費負担金は、3億8千433万円です。

Q 現段階でさんむ医療センターが行うべきことは、経営の改善であり、内科医をもっと充実させることである。預金も建設基金もないまま病院の建て替えの話は拙速ではないか。

A 市長 病院の建て替えは、評価委員からも御指摘がありました。院長も、将来建て替えの考えは、はっきりと持っています。独立行政法人になり、そのイニシアチブは、病院側がとらなければいけないと思つていますが、そのためにも、利益を積み増ししていかなければいけないと思つています。

●市長の反問

経営の評価は、議員の立場で全然されていないのですか。

Q 今回、本来であれば、1億数千円赤字になるところが、資産除去債務というところで赤字になったとある。努力の有無を問われれば、努力はされていると思うが、国の診療報酬の改定も影響

していると考え。しかし、貯金も、建設基金もないままに、建て替え問題が出ることは、拙速ではないかと思う。

Q 政策研究会 代表質問



能勢 秋吉 議員

●平成25年度予算編成について

Q 予算編成方針についてはどうか。

A 市長 引き続き、身の丈予算を基本として進めていきたいと考えています。

Q 歳入の個人市民税、法人市民税の状況についてはどうか。

A 市民部長 個人市民税、法人市民税ともにこの3年間をみると減少しています。今の経済情勢から、来年度も減少すると思われま

Q 経済の低迷時期であり、徴収率を上げることが大変なことだと思

う。しかし職員が一丸となり、努力が必要だと思ふがどうか。

A 市民部長 今後もしっかり努力してまいります。

Q 財務省出身の副市長からみて、滞納等、職員をよく指導していたらどうか。

A 副市長 市民部の中に、昨年度から債権回収対策室も設置し、職員一人一人が税の徴収に対する意識を上げてきていると思つています。今後も職員の意識高揚に努めてまいりたいと思つています。

Q 雇用の場が少ないのは、山武市のみではない。若い人の転出が多く、平成18年から23年までの20歳から30歳までの転出状況を調査してみると、年平均225人が転出している。この状況をどう思うか。

A 市長 できるだけ防ぎたいとは思つていますが、現実として受けとめています。

Q 人口減をとめるには、成東駅ホームの延伸工事をして、快速電

車の増発をして、通勤圏にすることが大事かどうか質問している。実施することにより、この一部でも、人口減をとめることができるかどうか。

A 市長 快速を増発してくれということですが、JRに陳情には行くのですが、もう少し強力的に進めるには、御指摘のように、積極的にホームを延伸するということも、しっかりと計画をしていかなければいけないと思つています。

Q 歳出の人員費について、一般職員の人数、幼稚園・保育所の職員数、臨時職員数は。

A 総務部長 一般職員の職員は4月1日現在、394人です。保育所・



J R成東駅のホーム